

きょうたなべ

のうぎょう委員会だより

農業委員会
ホームページ



No.87

令和3年3月1日発行
広報アイデア委員会

3

月号 2021



レモンプロジェクト 収穫して加工品へ



2面で紹介しています

令和2年12月1日、農業委員会が行う耕作放棄地解消・6次産業化企画「レモンプロジェクト」のレモンを収穫しました。

現在、レモンを使った加工品を鋭意制作中です。商品の詳細や、販売方法などは、決定次第報告する予定です。



今回のプレゼントクイズは、京田辺市でとれた新鮮な朝掘りタケノコです。

6ページ目に掲載

6次産業化のモデルへ！ 京田辺産果汁でポン酢



喜多 義治 会長

農業委員会では、耕作放棄地の解消・未来の特産品をつくるため、果樹を育てるレモンプロジェクトを行っています。

プロジェクトは平成25年に始まり、昨年度には同志社女子大学の学生と共に、ポン酢やジャムなどの加工品を発表（＝写真⑥）。6次産業化（農作物の生産から加工・商品の販売までを一貫して行うこと）のモデルケースを示しました。



令和元年度に作ったポン酢とナスジャム

レモンプロジェクト 令和2年度のレモン収穫 過去最高の収穫高で加工へ



今年のレモンは、鈴なりに育ちました。これまでの収穫量を大幅に更新。木の根切り作業や、施肥・害虫対策が大事であることを学びました。

レモン640kgを収穫！ 160kgの果汁へ加工

今年度は、これまでの生産経験を活かし、肥料やりや根切りなどの肥培管理を徹底したことで、過去最高となる640kgの収穫量となりました。農業委員会の委員総出で収穫したレモンは、その日に加工業者へ搬入。

およそ160kgの果汁へ加工できました。



今年は収穫日を遅らせたため、少し黄色に色づきました。

プロジェクトの集大成！ 《京都京田辺産ポン酢》

市内の農家へ向け「儲かる農業」のモデルケースを提案するレモンプロジェクトも6次産業化の集大成を迎えます。

現在、プロジェクトで採れた果汁のみを使用した《京都京田辺産ポン酢》を企画しています。

味・風味や商品名など課題は山積みですが、みなさんに満を持して発表できるよう鋭意制作中です。ご期待ください。



過去に行った同志社女子大学とのコラボや、産業祭への参画を掲載。

過去の活動はホームページをチェック！



京都京田辺産レモンのみを使用した レモンポン酢を 加工予定です！！

商品の詳細が決まりましたら、本紙や京田辺市ホームページなどで発表・掲載します。





はな な はな
花菜(菜の花)は、ほ
ろ苦さとシャキッとした
歯ごたえが、春の訪れを
感じさせてくれます。

ビタミン・カルシウム
など栄養素も豊富。冷
めてもおいしいので、
お弁当にもぴったりです。



川端 美恵 委員

材料(2人分)

花菜(菜の花)
200g



豚もも肉
薄切り100g



塩こしょう
適量



サラダ油
揚げ用



A
天ぷら粉 80g
水 100ml
カレー粉 お好みで



作り方

- 花菜を5cm幅で切る。アク抜きはやりません。
- 豚肉を広げて切った花菜を巻いてつつんでいく。
- ②に塩こしょうをふる。
- ポウルでAを混ぜ、③をくぐらせる。
※カレー粉の量はお好みで。



- フライパンでサラダ油を180℃に熱し、④を揚げていく。
- 焦げ色がついたら取り上げて、余分な油を切る。

コツ カレー粉は、余ったカレールーを刻んでもOK。火はしっかり通しましょう。



のう ぎよう かい いん かい かつ どう ほう こく
農 業 委 員 会 活 動 報 告



普賢寺地域で
田んぼアート



堀江 幸和 委員

農業委員会では、25人の農業委員会の委員を旧5町村(大住・田辺・草内・三山木・普賢寺)で分け、それぞれの地区の特色を活かした活動ができるように「地区連絡会議」を定期的に開いています。

ラインで会議をテスト運用

コロナ禍でも、積極的な話し合いを定期的に行うために、コミュニケーションアプリの「LINE」を用いたオンライン会議をテスト運用しました。

アプリの習熟度などが課題となるものの、今後、会議を定期的に開催するのに有効と思います。



オンラインにすることで、会議の場所取りなどを省力化

田んぼアートしませんか?
ボランティア募集



普賢寺地域では、地域の活性化やよりよい景観のため、「田んぼアート」に挑戦します。これは、通常の水稻と古代米(赤米、黒米などの色つき米)の水稻を作付けし、色の違う稲で絵を描くものです。

そこで、田んぼアートを進めるために、いっしょに作業をしてもらうボランティアを募集します。主に田んぼの管理や作付けなどの作業を手伝ってもらいたいと考えています。くわしくは、ホームページに掲載していますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

HPアドレス
<http://www.csd-net.co.jp/agri/page1.html>



メールアドレス
info@csd-net.co.jp
電話番号
0774-62-7808
(担当: 堀江)



農地パトロール

市内全筆を一斉調査

農業委員会では、普段の農地パトロールに加えて、毎年1回市内全域の農地を一斉調査（荒廃農地全筆調査）しています。

この調査では、農業委員会の委員が農家組合長などに協力いただき、複数の目で荒廃状況を確認します。



各地区からリストアップされた荒廃農地をとりまとめ、口頭や文章などで周囲に迷惑のかからない管理を指導します。

荒廃する前に管理を



農地の管理を怠ると、夏場に向けて雑草が繁茂し、病害虫が発生するだけでなく、周辺の環境が悪化することで不法投棄や違反転用にも繋がるきっかけとなります。逆に、管理の行き届いた農地が並ぶ地域は景観



澤田 康夫
会長職務代理者

も良く、適正でない農地は目立つので、荒廃する前に所有者へ事情の確認なども行うことができます。

相続されたら、まず相談を

近年、親世代から、農業に携わったことのない次世代への相続ケースが増えています。相続された農地の場所や管理方法がわからないという相談もあります。また、水利や農業の使用など、各地域にルールがありますので、農地を相続されたときは、お気軽に地域の農業委員会の委員へご相談ください。



新たに発見した荒廃農地は、1筆ずつ状態を記録し、どのように解消していくかを所有者へ確認します。

豊かな老後生活のために 加入しませんか 農業者年金

国民年金に上乗せする公的な年金制度です

1. 農業者なら広く加入できる
2. 積立方式・確定拠出型で安定した年金財政
3. 保険料の国庫補助
4. 保険料は2万円から自由に選択可能
5. 税制面で大きな優遇
6. 80歳までの保証がついた終身年金



くわしくは農業委員会事務局まで

農地の貸し借り状況報告

京田辺市にある貸借権のお知らせをします。

96%は無償の契約です



昨年は、975筆ありました。全体の内、約96%が使用貸借(無償)の契約です。

※農地法第52条の規定に基づき、農地法および農業経営基盤強化促進法による貸借の情報提供



貸借料は、農業委員会などが定めるものではなく、貸し手と借り手が話し合い、合意して決めるものです。

農地の貸し借りのご相談は、各地区の農業委員会の委員または農業委員会事務局までお問い合わせください。

家族・非農家も
楽しめる新聞

全国農業新聞は、農業の最新情報を提供。農業全般の情報や地域の明るい話題なども紹介し、ご家族や非農家も楽しめます。

毎週金曜日発行 ■B3版8〜10ページ ■月額700円(送料、消費税込) ■購読のお申し込みは、農業委員会事務局へ ■発行所：全国農業会議所

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

全国農業新聞

QRコード

京田辺市農業委員会活動方針



我が国の農業・農村を取り巻く情勢は、高齢化と人口減少による国内市場の縮小、TPP11協定やEU加盟国とのEPAあるいは日米貿易協定などの新たな国際環境への対応、担い手の高齢化や後継者不足の深刻化、これに伴う耕作放棄地の拡大など一層厳しさを増しています。さらには、新型コロナウイルス感染症の影響による需要減少や価格低下に見舞われ、今後も起こりうる食糧供給上のリスクや新しい生活様式による需要の変化への対応など農業経営への影響が懸念されます。

京田辺市農業委員会は、「地域の農業は、

1. 地域農業の担い手や農作業受託組織の育成を応援します

農業者の高齢化等による労働力不足に対応するため、府、市、JA京都やましろ等農業関係機関と連携を図りながら、意欲ある担い手・後継者・新規就農者の育成や地域に合った組織づくりに積極的に協力します。

2. 農地行政の適正な執行を引き続き行います

農業者を代表する機関として、農地法等の関係法律を遵守し、農地の権利移動や転用許可等の法令業務において、現地調査を行い、厳正かつ公正な審査・指導を行います。

3. 遊休農地の解消に取り組みます

農地パトロールを実施し、遊休農地については、各地域の農業委員・農地利用最適化推進委員が農地所有者・耕作者と話し合いの場を持ち、農地バンクや農地中間管理事業等も活用し、認定農業者等の担い手に農地の集積を積極的に推進することにより、遊休農地の解消を図ります。

また、地域の農家組合などとも連携し、農地の有効活用を促す活動に取り組みます。

地域で守る」を念頭に、かけがえのない農地を守り、力強い農業を創る架け橋となり、農地利用の最適化のため、新たな担い手の確保・育成、遊休農地の未然防止・解消、特産品の検討等に、各地域の実情に合った方法で取り組んで参ります。

については、農業委員と農地利用最適化推進委員が手を携えて、農業者の代表として自覚と誇りを持って行動する農業委員会としての実践活動をより一層強化しなければならないと考え、今後3年間の任期中の「活動方針」を令和2年11月の農業委員会総会において決定し、積極的に活動を展開します。

4. 地域特産物の育成や地産地消を推進します

儲かる農業を目指して、レモン・ジャバラプロジェクトをきっかけに、各地域で地元に適した魅力ある農産物、付加価値の高いブランド力のある農作物を模索する取り組みと、安心・安全な農作物の地産地消を推進します。

5. 農業者の公的代表機関として関係行政機関等に働き掛けます

地域の農業者と話し合いの場を持ち、農業者が農地利用の最適化を進め持続可能な農業が展開できるような施策を、積極的に関係行政機関等に提案していきます。

6. 情報の提供に努めます

農業委員会が農業者・市民に身近な組織となるよう「きょうたなべのうぎょう委員会だより」やホームページ等を活用し、農業施策等に関する情報の提供を行うとともに、広く意見も求めていきます。





天王地区



天王地区
中川 利一 委員

朱智天王の名にちなんだ地名

天王地区は、市南西部の中山間地域で、雲海が望める雲上集落です。大阪府・奈良県との国境に位置し、集落には75世帯が生活、うち60世帯が農家組合員です。

地区内には、牛頭天王ゆかりの「朱智神社」があり、古くから朱智天王と呼ばれたことから、その名にちなんで「天王」の地名がつけられたそうです。地区の北部には、市の文化財指定「シオー号墳（＝写真）」という古墳時代後期の横穴式石室が現存しています。昔は村の子どもの遊び場でもありました。

天王地区のお米は、昼夜の寒暖差と、山の湧水のおかげでうま味が強く、おいしいと評判で

す。反面、棚田のため、水稲を植える範囲よりも法面が広い農地が多くあり、管理が大変です。高齢農家の引退や担い手不足が進むと、車や農機具が入らない山あいの農地は荒廃が進みます。また、イノシシなどの鳥獣害も増えています。農業委員会の委員が集まる「地区連絡会議」も定期的に開き、悪い流れを少しでも食い止めたと思います。



古墳の中にも入れます。古墳を3Dで見られます。



今年度も府広報コンクールで金賞をいただき、5年連続の受賞となりました。引き続き、よりよい紙面となるよう一同努力します。(喜多義治会長)

プレゼントクイズ

京田辺市産 取れたて新鮮 **たけのこ 3kg** 3名様

今号のクイズ

農業委員会で作ろうとして
いる加工品は？(ヒントは2ページ)

答え ○○○○ (ひらがな、カタカナOK)

応募期限 令和3年4月1日(木)まで(当日消印有効)
 発送予定時期 令和3年4月
 郵送先 農業委員会事務局 〒610-0393(住所不要)
 nougyo@city.kyotanabe.lg.jp
 件名:「農業委員会クイズ」

記入内容 ■クイズの答え ■住所 ■氏名
 ■年齢 ■電話番号 ■ご意見・ご感想

メールアドレスが読み取れます。➡

